

お問い合わせ先
海洋情報部 技術・国際課
主任技術・国際官 古田明
Tel: 03-5500-7122



平成 25 年 1 月 31 日
海上保安庁

平成 24 年度海洋情報部研究成果発表会の開催について

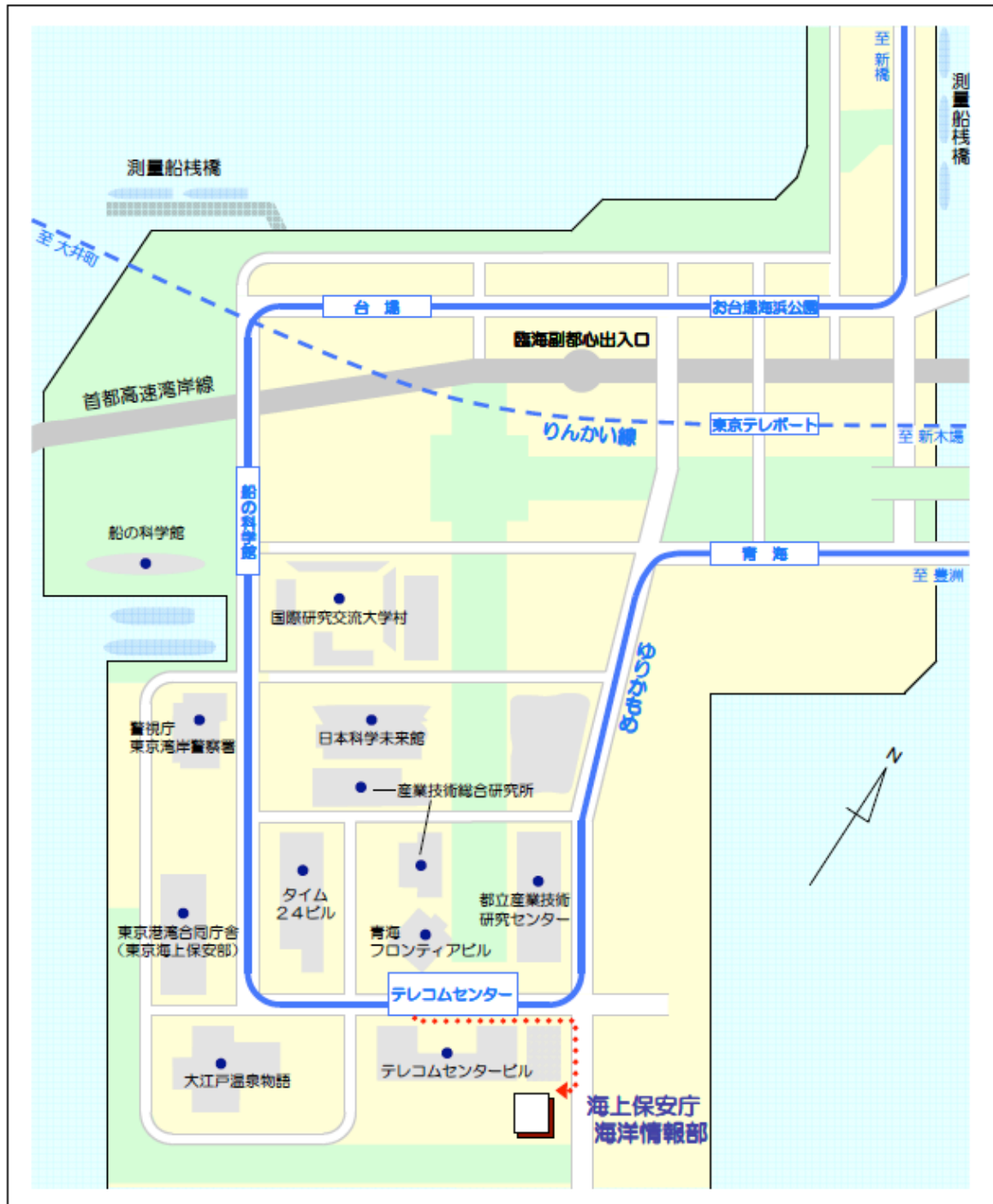
海上保安庁海洋情報部では、我が国の産業や国民生活を支える海上交通の安全確保、海洋に起因する災害への対応、海洋環境の保全、海洋権益の確保、さらには海洋情報の円滑な流通を図るため、最先端の調査・研究・開発を行っており、その成果を分かりやすくご紹介するため、毎年「研究成果発表会」を開催しています。

今年度は、長田太・内閣官房総合海洋政策本部事務局長による基調講演「最近の海洋をめぐる情勢～新しい海洋基本計画策定へ向けて～」に引き続き、「海洋の情報管理」をメインテーマとして開催することとしております。

記

1. 開催日時
平成25年2月27日(水)13:15～17:45(12:50 開場)
2. 会場(別紙1「会場へのアクセス」をご参照下さい)
海上保安庁海洋情報部 国際会議室(10階)
東京都江東区青海2-5-18 国土交通省青海総合庁舎
3. プログラム
別紙2「平成24年度海洋情報部研究成果発表会プログラム」をご参照ください。
4. 参加費等
入場無料です。事前登録の必要はありません。

会場へのアクセス



海上保安庁海洋情報部

住所 〒135-0064
東京都江東区青海2丁目5番18号
国土交通省青海総合庁舎

交通 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車、徒歩5分

平成 24 年度海洋情報部研究成果発表会プログラム

日 時:平成 25 年 2 月 27 日(水) 13:15~17:45(12:50 開場)

会 場:海上保安庁海洋情報部 国際会議室(10 階)

主 催:海上保安庁海洋情報部

共 催:一般財団法人日本水路協会

開会挨拶

13:15-13:20 海洋情報部長 谷 伸

口頭発表

セッション 1:海洋の情報管理

(1) 13:20-14:10 基調講演:最近の海洋をめぐる情勢~新しい海洋基本計画策定へ向けて~
内閣官房 総合海洋政策本部事務局長 長田太

14:10-14:20 休憩

(2) 14:20-14:40 海洋政策支援情報ツール(海洋台帳)の構築
海洋情報課 吉川貴子

(3) 14:40-14:55 JODC の取り組み
海洋情報課 長尾道広

(4) 14:55-15:10 CeisNet の進化
海洋情報課 中村公哉

(5) 15:10-15:30 JAMSTEC における海洋調査データの管理・公開について
海洋研究開発機構 地球情報研究センター 君野麻衣子

(6) 15:30-15:45 海底地形の名称に関する国内外の動向
技術・国際課 海洋研究室 小原泰彦

(7) 15:45-16:00 大陸棚調査から判明した日本南方海域の地殻構造の多様性
海洋情報課 金田謙太郎

(8) 16:00-16:15 沿岸域の詳細地形調査から判明した海底地形図の活用事例
海洋調査課 森弘和

16:15-16:30 休憩およびポスター発表コアタイム

セッション 2:水路新技術

(9) 16:30-17:00 海洋情報業務をめぐる新技術の動向
技術・国際課長 仙石新

(10) 17:00-17:30 水路技術奨励賞 受賞講演(2 件予定)

ポスター展示(13:00~17:45)

- (1) 津波防災情報図～現状と課題～
海洋調査課 航法測地室 三枝隼
- (2) 相模トラフから房総三重会合点の 3D 地形図
海洋調査課 泉紀明
- (3) 奄美大島西方の地質構造
海洋調査課 大陸棚調査室 堀内大嗣
- (4) 北部南西諸島海域における地殻構造調査
海洋調査課 大陸棚調査室 及川光弘
- (5) 地殻厚さとブーゲー重力異常との関連性の考察
海洋調査課 大陸棚調査室 藤岡ゆかり
- (6) 新潟地震震源域の海底地形(活断層調査)
火山調査官 伊藤弘志
- (7) 西ノ島火山
火山調査官 伊藤弘志
- (8) 2011 年東北地方太平洋沖地震後の海底地殻変動
技術・国際課 海洋研究室 佐藤まりこ
- (9) 南海トラフにおける海底地殻変動観測
海洋調査課 航法測地室 氏原直人
- (10) 来島海峡の潮流観測
技術・国際課 海洋研究室 熊谷武
- (11) 漂流ブイを用いた相模湾海洋短波レーダーのデータ検証
環境調査課 西村一星
- (12) 東京湾の連続観測装置による近年の観測成果
環境調査課 森岡裕詞
- (13) 日本周辺海域の放射能調査
環境調査課 汚染調査室 小嶋哲哉